鳥取県障がい者スポーツ協会だより

第15号

2024年（令和6年）3月

編集・発行　一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会
〒680-8570　鳥取県鳥取市東町１丁目220番地　　TEL 0857-50-1071　FAX 0857-50-1074
E-mail torikensyospo@ts-sawayaka.jp
ホームページ　http://ts-sawayaka.jp

「鳥取県障がい者スポーツ協会」
で検索してぜひご覧下さい！

鳥取県障がい者スポーツ協会　検索

公式SNS（@torikensyospo）・YouTubeチャンネル公開中！

Instagram　Facebook　YouTube

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に参加した鳥取県選手団

も　く　じ

★会長あいさつ …… P 2
★韓国・江原特別自治道との障がい者スポーツ交流事業 …… P 2
★第15回鳥取県障がい者スポーツ大会、
特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」への選手団派遣 …… P 3
★競技力向上対策事業、いざ世界の大舞台へ！トップアスリート強化支援事業 …… P 4
★国際大会出場報告 …… P 5
★初級パラスポーツ指導員養成講習会及び、
鳥取県パラスポーツ指導者スキルアップ講習会の開催 …… P 6
★第35回鳥取さわやか車いす＆湖山池マラソン大会、
鳥取県あいサポート・スポーツフェスティバル2023 …… P 7
★令和６年度鳥取県障がい者スポーツ協会事業計画（予定）、
スペシャルオリンピックス日本・鳥取のご紹介 …… P 8
★スポーツ教室について、障がい者スポーツ指導員派遣事業 …… P 9
★スポーツＦＵＮネット公認研修会の開催、中・西部サテライト施設について …… P10
★正会員紹介 …… P11
★賛助会員について …… P12

▼このマークは、音声コードです。活字文書読み上げ装置を使用すると、目の不自由な方でも情報を音声で聞くことができます。

ごあいさつ

会長　後藤　裕明

新型コロナウィルスが昨年５月から５類感染症に移行され、感染対策を行いながらコロナ禍以前のように障がい者スポーツ大会等スポーツ活動がおおよそ回復してきました。

本協会では、５月には「特別全国障害者スポーツ大会燃ゆる感動かごしま大会」に向けて県予選会を開催し、187 名の参加がありました。９月には「第 35 回鳥取さわやか車いす＆湖山池マラソン大会」が県内外から 700 名の参加を得て開催できました。また 10 月には「特別全国障害者スポーツ大会燃ゆる感動かごしま大会」が開催され、鳥取県選手団選手・役員 62 名（オープン種目含む）が参加し、金メダル 10 個・銀メダル４個・銅メダル 11 個と２年連続メダル獲得率の目標 60% を大きく上回り、一昨年の 75% を超える過去最高の 83.3% の好成績でありました。選手・監督等関係者の努力の成果が現れた素晴らしい大会でした。

11 月には４年ぶりに韓国江原特別自治道とのスポーツ交流が再開され、本協会から卓球競技の選手・コーチ等 11 名が渡韓し、交流試合を行い江原特別自治道の選手の皆さんの技術や試合運びを学び有意義な交流となりました。次年度は心を込めて鳥取にお迎えします。

また、世界大会等でもデフゴルフの前島博之選手、ローイングの森卓也選手、陸上やり投げの高橋峻也選手、幅跳びの川口梨央選手、車椅子バスケの立岡ほたる選手、ボウリングの中村洋三選手、卓球の宮﨑恵菜選手、馬術の大川順一郎選手等来年度のパリパラリンピック、再来年度のデフリンピック東京大会を目指す選手の活躍が目立ちました。

一方「鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア」においては、５月からスポーツ教室の開催、年４回行ったフェスティバル、スポーツ広場、トレーニングルームの利用等で利用者が延べ 15,000 人強と増加し、３年連続して 15,000 人を超える利用がありました。また、中・西部のサテライトセンターも大変好評で利用者が増加傾向にあり、障がい者スポーツの裾野が広がりつつあります。

加盟団体も、特別支援学校４校と１競技団体の加入があり現在 33 団体となりました。次年度はさらに皆様方に親しまれる協会になるように頑張りたいと思います。

韓国・江原特別自治道との障がい者スポーツ交流事業

11 月 26 日 (日) ～ 11 月 29 日 (金) の４日間の日程で、韓国・江原特別自治道で交流事業を実施しました。

過去３年間、新型コロナウイルスの影響で延期をしており、今年度は４年ぶりに開催することができました。

今回鳥取県から、あわせて７名の鳥取県障がい者卓球協会のコーチ・選手が渡韓しました。

交流事業では、江原特別自治道障がい者卓球協会の選手と親善試合を行い、初めて海外の選手と試合をするなど、普段と違う環境下に苦戦している選手が多く、江原特別自治道の選手の技術や試合運びなどに鳥取県のコーチ・選手ともに大きな刺激を受けておられ、「とても貴重な経験になった」という声が聞けました。

今回の、障がい者スポーツ交流事業に関わって下さった、江原特別自治道障がい者体育会・鳥取県障がい者卓球協会の皆様、ありがとうございました。

第 15 回鳥取県障がい者スポーツ大会の開催

5月13日

ボッチャ
鳥取県立鳥取産業体育館

アーチェリー
鳥取市営つづらおアーチェリー場

第15回鳥取県障がい者スポーツ大会兼特別全国障害者スポーツ大会鳥取県選手選考会を開催しました。県内各地から延べ187名の方にご参加いただきました。選手、関係者の皆様お疲れ様でした。

5月20日

卓球（一般卓球）
鳥取県民体育館

ボウリング
鳥取スターボウル

卓球（STT）
米子市心身障害者福祉センター

5月21日

陸上競技

フライングディスク

鳥取県立布勢総合運動公園　陸上競技場

水泳
鳥取県営鳥取屋内プール

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」への選手団派遣

10月28日から30日まで、本県からも正式種目に選手19名、役員28名の総勢47名が鳥取県選手団として参加しました。初出場の選手や初めて県外へ行く選手もいて不安もあったと思います。そんな中、選手全員がこれまでの練習の成果を発揮され、獲得したメダルは金メダル10個・銀メダル4個・銅メダル11個の25個となり、メダル獲得率83.3%という過去最高の好成績で大会を無事終えることができました。

選手、役員の皆様大変お疲れ様でした。また、大会の開催にあたりご尽力いただいた全ての皆様、ありがとうございました。

水泳の選手・役員

陸上競技・松原選手
（左から２人目）

卓球・濵津選手（奥側）

STT・中原選手（左）

アーチェリー・中野選手

フライングディスク
近藤選手

ボッチャ
安達選手 山根選手

ボウリング・市川選手

競技力向上対策事業

医科学サポート

競技をする上で必要な知識や理解を深めるため、月に1回、ノバリアにて個別の相談事業や栄養講習会を実施しました。

【医事相談】
スポーツを始める・続けるにあたり体のことや健康に関すること
【栄養相談】
スポーツを実施するにあたり栄養に関すること
【トレーニング相談】
スポーツを実施するにあたりトレーニングに関すること
【スポーツ相談】
スポーツを始める・続けるための総合的な相談

強化指定選手・団体

鳥取県から全国、世界で活躍する選手を育成するため、強化指定を行い、今年度は選手15名、コーチ14名、4団体が認定されました。

県立特別支援学校部活動支援事業

特別支援学校の部活動強化を通じて、スポーツを通じた体力の維持・向上を図り、自立と社会参加の促進への寄与を目指しています。今年度は、7校14部を指定しました。

次代を担うアスリートの発掘・育成

将来的に世界で活躍する選手を発掘するため、特別支援学校等と連携して、相談会や体験会、日本代表選手の講習会等を実施しています。今年度は、パラ陸上競技日本代表のアスリートを招き、パラ陸上体験会を開催しました。

いざ世界の大舞台へ！トップアスリート強化支援事業

将来的にパラリンピック等の世界大会への選手輩出を目的に令和4年度より実施しています。

主に鳥取県障がい者スポーツ強化指定選手に指定されていない方を対象に体力測定を行い、障がい特性や身体的にどの機能が優れているか、また測定後の適性を見てスポーツ種目を紹介し、どのスポーツ種目であれば将来アスリートとして世界大会へ出場することができるかということに重きを置いて選手の発掘・強化支援を進めています。

令和5年度は一般社団法人スポーツ能力発見協会に協力をいただき体力測定会を実施しました。

体力測定会の様子

バランス能力
（開眼片足立ち）

測定結果のフィードバックと
適性スポーツ種目の紹介

国際大会出場報告

川口　梨央選手（陸上競技）
「杭州2022アジアパラ競技大会」

杭州2022アジアパラ競技大会は、参加40ヶ国・約650名の選手が参加し開催され、日本からは45名の日本代表選手が派遣されました。

私は女子T20（知的障がい者）走幅跳に日本代表とし参加しました。大会は、国内大会では経験できない、試技を行うごとに上位が入れ替わる、最初から最後まで集中力を途切れさせることが出来ない、T20の選手には非常に難しい競技となりましたが、最後まで集中力が途切れる事なくベストパフォーマンスを行う事ができ、結果は、自己ベスト記録を更新し銀メダルを獲得する事が出来ました。

次年度は、「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」を第一目標とし頑張りたいと思いますので、応援よろしくお願い致します。

写真撮影　小山　和行

大川　順一郎選手（パラ馬術）
「デンマーク Vallensbeak CPEDI 2★(ツースター)
インターメディエイト　ＧＩ(グレードワン)」

出場した大会は、わたしにとりまして人生初の国際大会でした。この大会に出場することができたのは、春のドイツでのトレーニングでダイナミックな動きをする騎乗馬ジョーカーと、素晴らしいトレーナーやグルーム(競技会の時に馬の世話や輸送などをしてくださる方)のみなさまとの奇跡的な出会いがあったからです。

ひとつ上の3★(スリースター）のカテゴリーに進むための重要な今大会で、条件の得点率をクリアすることができ、2種目で優勝することもでき大いに収穫のある大会となりました。

今後も、2024年パリパラリンピック日本代表選手に選出されるために国際大会に出場し、チームのみなさまと代表権利を勝ち取りたいと思います。

初級パラスポーツ指導員養成講習会の開催

10月7日(土)～9日(月・祝)の計3日間にわたり、公益財団法人日本パラスポーツ協会公認初級パラスポーツ指導員養成講習会を米子サン・アビリティーズで開催し、13名の受講生が指導員資格を取得されました。

講義、実技をご担当いただいた先生方、ありがとうございました。

受講生の皆様が今後地域でのスポーツ活動で活躍されることを応援しております。

上野先生の講義

グループワーク

実技「ボッチャ」

鳥取県パラスポーツ指導者スキルアップ講習会の開催

12月17日(日)に米子市・養和病院にて、鳥取県パラスポーツ指導者スキルアップ講習会を開催し、鳥取県内から20名が参加しました。

第1部は立命館大学産業社会学部スポーツ社会専攻教授の金山千広氏を講師にお迎えし、「知的障がい・発達障がいのある子どもたちのスポーツの重要性：地域におけるインクルーシブなスポーツ環境を考える」と題して講義を展開いただき、第2部は医療法人養和会理学療法士の炭山慧一氏をお迎えし「障がい児・者におけるスポーツリズムトレーニングの活動事例の紹介と体験」と題して講義と実技を展開していただきました。

受講者からは「金山先生から説明のあった『10回の説明よりも1回のモデル提示を！』が印象的だった」「リズムによってスポーツパフォーマンスが変わるという新しい発見があり自分も楽しめた。障がいの有無関係なく誰もが参加できユニバーサルスポーツの必要性を感じた」と感想をいただきました。

金山先生の講義

グループワーク

実技
スポーツリズムトレーニング

第35回鳥取さわやか車いす＆湖山池マラソン大会の開催

9月10日(日)、鳥取県立布勢総合運動公園陸上競技場および湖山池ハーフマラソンコースにて第35回大会を開催しました。35回の記念大会となった今回は、全国各地から総勢700名の方にご参加いただきました。

当日は天候が心配されましたが、晴天に恵まれ、参加者の皆さんは各々のペースでゴールを目指しました。

ご参加いただいた皆様、また、開催にあたり公道の交通規制や大会運営にご協力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

開会式（協賛社への感謝状贈呈）

競技用車いすハーフマラソンの部

一般ランナーも全力疾走！

表彰式

鳥取県あいサポート・スポーツフェスティバル2023

ミニ運動会「鯛釣り」

ミニ運動会「玉入れ」

ミニ運動会「目指せホールインワン」

11月11日(土）にノバリアにて開催しました。今年度は雨天のため、予定していた屋外種目は中止となりましたが､延べ140名の方に参加していただきました｡今回は卓球バレー等のスポーツ体験の他、佐野真未先生を講師にお迎えした「体すっきりヨガ体験」や、ミニ運動会も実施し、ご来場の皆さんで楽しく交流ができました。

体すっきりヨガ体験

卓球バレー

令和６年度鳥取県障がい者スポーツ協会事業計画（予定）

第 16 回鳥取県障がい者スポーツ大会兼第 23 回全国障害者スポーツ大会鳥取県選手選考会

（1）期　　日　令和６年５月 18 日（土）・19 日（日）・25 日（土）・26 日（日）

（2）実施種目　陸上競技・水泳・卓球（サウンドテーブルテニス含む）・アーチェリー・ボウリング
フライングディスク・ボッチャ　　※会場等の詳細は後日発表します。

第 36 回鳥取さわやか車いす＆湖山池マラソン大会

（1）期　　日　令和６年９月８日（日）

（2）会　　場　鳥取県立布勢総合運動公園陸上競技場
及び湖山池ハーフマラソンコース

※種目、コース等の詳細は後日発表します。

鳥取県あいサポート・スポーツフェスティバル 2024

（1）期　　日　令和６年 11 月で現在調整中

（2）会　　場　鳥取ユニバーサルスポーツセンター
ノバリア

（3）種　　目　卓球バレー・ボッチャ・フライング
ディスク・卓球・スカットボール・
ふうせんバレーボール・バッゴー・
羽根っこゲーム・カローリング・
ラダーゲッター　など

スペシャルオリンピックス日本・鳥取のご紹介

＜活動目的＞

知的障がいのある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じた様々なスポーツトレーニングと競技の場を提供しています。

＜活動内容＞

県内３地区での定期的なスポーツプログラムの実施や、全県で行う地区大会の開催のほか、他県で開催される大会にも参加しています。４年に１度開催される全国大会にはアスリートを派遣します。

種	目	日　時	会　場
鳥取	卓球	第2･4日曜日10:00 ～ 12:00	高齢者福祉センター
	ボウリング	第2･4金曜日16:30 ～ 18:00	鳥取スターボウル
倉吉	卓球	不定期	あやめ池スポーツセンターほか
	サッカー	不定期	ノバリアほか
米子	卓球	第1･3土曜日10:00 ～ 12:00	米子産業体育館ほか
	陸上	第2･4日曜日9:30 ～ 12:00	どらドラパーク陸上競技場
	競泳	第1･3日曜日15:00 ～ 17:00	皆生市民プール
	バドミントン	第1･3日曜日9:00 ～ 12:00	米子サン･アビリティーズ
	ボウリング	第2･4日曜日13:00 ～ 15:00	YSP ボウル

＜アスリート募集＞

県内では約 100 名のアスリートが自分の好きなスポーツ活動をしています。誰でも気軽に参加することができます。まず、近くの会場で見学してみませんか。

【　連　絡　先　】

〒 680-8570　鳥取市東町１丁目 220 番地　県庁議会棟別館１階
TEL・FAX：（0857）30-6858　E-Mail：son_tottori@son.or.jp
特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・鳥取

Special Olympics Nippon Tottori
知的障害のある人にスポーツを

スペシャルオリンピックス日本･鳥取　検索

スポーツ教室について

令和５年度、ノバリア内外において以下の教室を実施しました。

【ノバリアでの教室】

① 体力向上トレーニング教室
② ウォーキング・ダイエット教室
③ ニュースポーツ教室
④ レクリエーションスポーツ教室①(平日)
⑤ レクリエーションスポーツ教室②(週末)
⑥ 応用スポーツ教室①(平日)
⑦ 応用スポーツ教室②(週末)
⑧ ジュニアスポーツ教室
⑨ キッズスポーツ教室
⑩ ストレッチ教室
⑪ ひざ痛・腰痛予防教室
⑫ ヨガ　初心者教室
⑬ ヨガ　上級者教室
⑭ ヨガ　キッズ教室
⑮ ダンス　リズム教室
⑯ ダンス　振付教室
⑰ UDダンス教室
⑱ 卓球教室①・②
⑲ 車いすバスケットボール教室
⑳ ふうせんバレーボール教室
㉑ スポーツチャンバラ教室
㉒ フライングディスク教室
㉓ 卓球バレー教室
㉔ バドミントン教室①・②
㉕ ボッチャ教室
㉖ サッカー教室
㉗ グラウンド・ゴルフ教室

体力向上トレーニング教室

応用スポーツ教室

ふうせんバレーボール教室

【ノバリア外での教室】

わかとりっこ水泳教室(旧東部水泳教室)
中部水泳教室
サーフィン教室(東部)

サーフィン教室

また、中部・西部のサテライト施設においても各種スポーツ教室を実施しました。詳しくは 10 ページをご覧ください。

来年度のスポーツ教室日程は、令和６年３月頃にお知らせ予定です！

障がい者スポーツ指導員派遣事業

バッゴー

地域へスポーツ指導者を派遣することにより、障がい者スポーツ実践の場を創出し、共生社会の実現に寄与することを目的として、地域の学校や施設、公民館等へスポーツ指導者の派遣を行いました。

東京パラリンピック以降、パラスポーツへの興味、関心も徐々に高まっており、今年度は 81 件（令和５年 12 月末現在)、障がい者スポーツ指導員やスポーツ FUN ネットの人材を派遣しました。

障がいの程度に合わせた指導を行い、楽しんでスポーツをしてもらえる機会となり、障がい者スポーツへの理解を深めていただきました。

スポーツＦＵＮネット公認研修会の開催

障がい者スポーツに触れるきっかけづくり、障がい者スポーツへの理解を深める取組みの一環として、スポーツＦＵＮネット研修を行いました。今年度は５講座７回を開催し、これにより500名（令和５年12月末現在）の方が現在スポーツＦＵＮネットワークに登録され、延べ261名（令和５年12月末現在）の方にサポーターとして障がい者スポーツのサポートを行っていただきました。

ｅ - スポーツの世界を体験しよう

秋田 啓選手　特別講演

パラローイング体験会

車いすバスケットボール体験会

ＵＤダンス

中・西部サテライト施設について

ノバリアの機能を全県に広げるため、令和３年度より県内中・西部にサテライトセンターをオープンし、今年度は各施設にて下記のとおりスポーツ教室を開催しました。

	中部サテライトセンター	西部サテライトセンター
会場	倉吉スポーツセンター （倉吉市葵町591-1）	米子サン・アビリティーズ （米子市皆生３丁目16－20）
運営	ミズノ株式会社	社会福祉法人養和会
内容	・スポーツ教室（年間40回程度）	・スポーツ教室（年間100回程度）
	①ヨガ教室	①ダンス／ヨガ教室
	②ニュースポーツ教室	②アクアスポーツ教室（カヌー／ボート）
	③グラウンド・ゴルフ教室	③競技スポーツ教室
	④卓球教室	④レクリエーションスポーツ教室　等
		・指導員派遣

競技スポーツ（ボッチャ）

ダンス

レクリエーションスポーツ（卓球バレー）

＜鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア＞
【連絡先】
TEL：0857－50－1091　　FAX：0857－50－1092
E-mail：tottori-novaria@ts-sawayaka.jp
【開館時間】９：30～20：30
【休 館 日】毎週火曜日（祝日の場合は翌水曜日）
年末年始（12／29～１／３）

正会員紹介

33 団体が正会員として加盟されています。（令和 6 年 3 月現在）

	団体名	役員	問合せ先	加入年度
1	鳥取県車いすバスケットボール協会	会　長　浜崎　晋一 理事長　福永　幸男	電話　090-1359-6488	平成元年度
2	鳥取県身体障害者アーチェリー協会	会　長　寺坂　真一	電話　090-9064-2623	〃
3	鳥取県障がい者卓球協会	会　長　若原　優二 事務局　中村　幸法	電話　090-1339-5553	〃
4	鳥取県聴覚障害者バレーボールクラブ	会　長　福本　和巳 事務局　徳岡　英一	FAX　（0859）30-2563	〃
5	鳥取県障がい者水泳協会	理事長　本田　貴志 事務局　稲田　真弓	電話　（0859）34-6750	平成 20 年度
6	鳥取県障がい者フライングディスク協会	会　長　山本　徳広 事務局　齋尾智恵里	電話　090-7593-0488	〃
7	鳥取バラ陸上競技協会	会　長　福留　史朗 理事長　大森　浩至	電話　090-7504-2348	平成 21 年度
8	鳥取県サウンドテーブルテニスクラブ	会　長　市川　正明 事務局　門脇　保身	電話　（0859）35-4336	〃
9	鳥取県障がい者フットソフトボール協会	会　長　片山　義継 事務局　石橋　武人	電話　（0857）59-0361	平成 22 年度
10	鳥取県スポーツチャンバラ協会	会　長　中田　利幸 事務局　水田　靖子	電話　（0858）26-2291 （FAX兼）	〃
11	鳥取県ふうせんバレーボール協会	代　表　角　千春 事務局　川井　千賀	電話　（0859）34-5089 （FAX兼）	平成 23 年度
12	鳥取県障がい者ボウリング協会	会　長　島谷　龍司 事務局　上田　玲子	電話　080-1923-8083	〃
13	鳥取県障がい者ソフトボール協会	会　長　長坂　則翁 事務局　大森　真一	電話　（0859）28-8470	平成 24 年度
14	鳥取県精神障がい者バレーボール協会	会　長　佐藤　義人 事務局　田崎　昌宏	電話　090-2000-4403	平成 25 年度
15	鳥取県 FID バスケットボール連盟	会　長　伊藤　保 事務局　安田　英子	電話　090-6981-7633	〃
16	鳥取県卓球バレー協会	会　長　宮本　聖史 事務局　森田　寿子	電話　080-1903-4745	平成 27 年度
17	鳥取県ソーシャルフットボール協会	会　長　廣江　仁 事務局　中村　祐太	電話　（0859）42-1121	平成 28 年度
18	鳥取県ボッチャ協会	会　長　石丸　知 事務局　小笹　智史	電話　（0859）29-5351	平成 29 年度
19	鳥取県障がい者グラウンド・ゴルフ協会	会　長　山﨑　建治 事務局　福永　幸男	電話　090-1359-6488	〃
20	鳥取県ブラインドマラソン協会白うさぎ B&G	代　表　川口　誠	電話　090-7547-3066	平成 30 年度
21	鳥取県車いすツインバスケットボール協会	会　長　永田　浩二 理事長　濱橋　崇	電話　080-1903-2243	令和 2 年度
22	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会	会　長　藤井　喜臣	電話　（0857）59-6331	令和 3 年度
23	鳥取県パラバドミントン協会	会　長　福浜　隆宏 事務局　齋尾智恵里	電話　090-4657-7218	〃
24	鳥取県ローイング協会	会　長　杉村　正男 事務局　佐々木雄一	電話　（0859）21-2157	令和 4 年度
25	鳥取県立鳥取聾学校	校　長　秋田　易子	電話　（0857）23-2031	〃
26	一般社団法人鳥取県手をつなぐ育成会	会　長　大谷　喜博	電話　（0857）59-6344	〃
27	鳥取県立倉吉養護学校	校　長　中家　岳史	電話　（0858）28-3500	〃
28	鳥取県立鳥取盲学校	校　長　岸田　裕子	電話　（0857）23-5441	〃
29	鳥取県立白兎養護学校	校　長　中西美千代	電話　（0857）59-0585	令和 5 年度
30	鳥取県立琴の浦高等特別支援学校	校　長　牧田礼次郎	電話　（0858）55-6477	〃
31	鳥取県立米子養護学校	校　長　本間　隆之	電話　（0859）27-3411	〃
32	鳥取県立皆生養護学校	校　長　山田　知子	電話　（0859）22-6571	〃
33	鳥取県 FID フットボール連盟	会　長　小林　勝年 事務局　山田　健太	電話　090-4572-2552	〃

賛助会員について

当協会の活動にご理解、ご賛同いただき、今年度より54社の企業・団体の皆様に賛助会員となっていただきました(令和6年2月現在)。
ご支援いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

賛助会員一覧（順不同・敬称略）

八幡不動産グループ
内科・消化器内科片原ごとうクリニック
株式会社鳥取県情報センター
株式会社衣笠商会
株式会社山陰合同銀行
株式会社鳥取銀行
鳥取信用金庫
社会福祉法人あすなろ会
株式会社懸樋工務店
鳥取ビルコン株式会社
医療法人さとに田園クリニック
有限会社トミムラ興産
BALLPARK
株式会社HARENOHIDESIGN
有限会社徳吉薬局
有限会社西川テント商会
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社鳥取支店
株式会社新日本海新聞社
クリヤマジャパン株式会社新大阪支社
株式会社トーヨーショップ丸山
社会福祉法人鳥取福祉会
有限会社福田保険事務所
東亜道路工業株式会社中四国支社
鳥取いなば農業協同組合
株式会社奨建工
社会福祉法人鳥取県厚生事業団
公益財団法人鳥取県スポーツ協会
ホンダ山陰中央株式会社
株式会社橋尾スポーツ
山陰リネンサプライ株式会社
株式会社加藤紙店
中央印刷株式会社
特定非営利活動法人Studio−E
株式会社モストブリスク
日本交通株式会社
NPO法人夢ハウス
有限会社エフエムエルサービス
株式会社SPH
一般財団法人いなば財団
岡田電工株式会社
有限会社第一設備工業
社会福祉法人慶光会
特定非営利活動法人かがやきプロジェクト
有限会社ドアーズ
株式会社ドリームかわはら
NPO法人就労支援センター和貴の郷
因幡環境整備株式会社
株式会社モリックスジャパン
鳥取県信用保証協会
鳥取ガス株式会社
株式会社竹内組
株式会社徳田商店
株式会社岩田兼商店
有限会社こやま薬局

【個人会員】
藤井　喜臣　　水野　一久　　川口　誠　　田渕　眞司
中村　幸法　　福永　幸男

鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア内にて、芳名板を掲示させていただいています。

※希望された方のみ掲載・掲示しています。

（写真はイメージ）

賛助会員募集のお願い

当協会では、障がい者がスポーツを通して、残存機能の向上及び心身の健全な育成を図り、自立更生から社会参加へと発展する活動を支援しています。
そこで、当協会の活動趣旨にご賛同いただける方の賛助会員を募集しています。一人でも多くのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

（何口でも可）

区　分	年 会 費
個 人 会 員	1口　1,000円
企業・団体会員	1口　10,000円